

2026年4月27日

各 位

株 式 会 社 ミ ラ イ ロ
代 表 取 締 役 社 長 垣 内 俊 哉
(コード番号:335A 東証グロース市場)

国土交通省「地域交通 DX プロジェクト」への参画に関するお知らせ

当社は「バリアバリュー」を企業理念とし、障害のある当事者の視点から、社会における「障害=バリア」を、「価値=バリュー」に転換するインフラやソリューションの提供を行っております。この度、国土交通省が事業を実施する地域交通DXプロジェクト「COMmmONS(コモンズ)」において、「地域交通DXの推進に向けた交通サービスへの介助依頼インターフェースの標準化調査業務」に参画することとなりましたのでお知らせいたします。

【参考】国土交通省 COMmmONS(コモンズ) Webサイト <https://www.mlit.go.jp/commmmons/>

■ 背景

現在、車いすユーザーなどの要介助者が電車に乗る際、事前の申し込みは鉄道会社ごとにルールが異なります。たとえば、

- ・ 事業者によって「電話」「Web」「窓口」と申し込み手段が分かれてしまっている。
- ・ 乗り換えがあるたびに、利用者はそれぞれの会社と同じ説明をしなければならない。
- ・ 鉄道会社側も、駅員同士の連絡手段がFAXや電話中心で、確認に手間と時間がかかる。

このように、各社が個別に業務プロセスを最適化してきた結果、「情報の分断」が生まれ、要介助者の「移動のしづらさ」や、駅員の「業務負担」を引き起こしています。

■ 本業務で取り組むこと

1. 「共通のルール」を作る
申し込み項目や連絡の流れを整理し、鉄道会社が共通して使える「標準ルール」を作成します。
2. 「つながるシステム」を試作する
出発地から目的地までの介助依頼ができる仕組み(プロトタイプ)を作ります。
3. 「実際の駅」でテストする
実際に鉄道会社の協力を得て、一般のユーザーにも参加していただきながら、本当に使いやすいか、現場の負担が減るかを検証します。

■ 今後の展望

本業務を通じてミライロが目指すのは、デジタル技術を駆使したインクルーシブデザインを一つの手法として用い、移動における物理的・心理的な障壁を解消することです。ミライロIDを基盤とした「共通のルール(標準仕様)」が全国の交通機関へ普及することで、誰もが迷わずスムーズに介助を依頼できる環境を実現します。単なるミライロIDの機能拡充に留まらず、社会実装に向けた運用ガイドラインの策定まで完遂することで、誰もが思い立ったときにストレスなく外出できる社会インフラを築いてまいります。

■ 株式会社ミライロ 会社概要

所在地:大阪市淀川区西中島三丁目8番15号

代表者:代表取締役社長 垣内俊哉

設立:2010年6月2日

事業内容:①障害者に向けたデジタルプラットフォーム「ミライロID」の運営

②法人や自治体に向けたユニバーサルデザインのソリューション提供

URL:<https://www.mirairo.co.jp/>

■ デジタル障害者手帳「ミライロID」について

障害者手帳を所有している方を対象としたスマホアプリです。ユーザーは、障害者手帳の情報や求めるサポートの内容などを登録でき、「ミライロID」を本人確認書類として認めている事業者において割引が受けられます。また、クーポンの提供やチケットおよび商品の販売、広告掲載、他サービスとのAPI連携等も行っています。

URL:<https://mirairo-id.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

ミライロID利用者様のお問い合わせ

https://help.mirairo-id.jp/hc/ja/requests/new?ticket_form_id=900001612823

事業者様のお問い合わせ

<https://mirairo-id.jp/business/contact>

その他のお問い合わせ

press@mirairo.co.jp

【IRメールマガジン】

当社では、適時開示やPR情報など最新のIR情報をメールにて配信しております。

配信をご希望の方は、下記のURLより登録をお願いします。

<https://www.mirairo.co.jp/ir/mailmagazine>



以上